【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2005-513647(P2005-513647A)
【公表日】平成17年5月12日(2005.5.12)
【年通号数】公開・登録公報2005-018
【出願番号】特願2003-555379(P2003-555379)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　17/30
　Ｇ０６Ｆ　12/00
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　17/30　　４１９Ｂ
　Ｇ０６Ｆ　17/30　　１４０
　Ｇ０６Ｆ　12/00　　５４６Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月23日(2004.8.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ハイパーメディアを解析および表現する段階（Ｓ．１）と、前記ハイパーメディアからのデータを照合する段階（Ｓ．３）と、前記照合されたデータの表示を表現する段階（Ｓ．５）と、を備えるハイパーメディアにおける機能にアクセスする方法であって、
　前記照合する段階は、ユーザーエージェントによって実行され、
　前記ハイパーメディアは、所定の属性を有する少なくとも１つの要素を含み、これにより前記ユーザーエージェント用の動的に割り当て可能なキーボードショートカットによって前記要素と関連付けられた所定の機能が作動し、そして、
　前記照合されたデータは、前記所定の属性をサポートする前記ハイパーメディアにおける前記要素に対応していることを特徴とするハイパーメディアにおける機能にアクセスする方法。
【請求項２】
　請求項１に記載の方法において、前記所定の属性は、前記ユーザーエージェント用の特定の制御キーを前記要素に割り当てることのできるアクセスキーを備えることを特徴とするハイパーメディアにおける機能にアクセスする方法。
【請求項３】
　請求項２に記載の方法において、前記ハイパーメディアを表現する段階と、前記ユーザーエージェントの制御要素を操作して前記ハイパーメディアの代わりに前記照合されたデータを表現する段階（Ｓ．４）と、を含むことを特徴とするハイパーメディアにおける機能にアクセスする方法。
【請求項４】
　請求項３に記載の方法において、前記照合されたデータの中から選択することにより、前記機能を選択する段階を含むことを特徴とするハイパーメディアにおける機能にアクセスする方法。
【請求項５】
　請求項１に記載の方法において、前記解析，表現および照合段階（Ｓ．３）は、ブラウ

ザによって実行されることを特徴とするハイパーメディアにおける機能にアクセスする方法。
【請求項６】
請求項１に記載の方法において、前記ハイパーメディアは、ＸＨＴＭＬ文書を備えることを特徴とするハイパーメディアにおける機能にアクセスする方法。
【請求項７】
ハイパーメディアを解析する解析プロセス（Ｓ．１）と、データを識別するプロセス（Ｓ．２）と、該データを表現するプロセス（Ｓ．５）とを提供するプログラムを含むハイパーメディア用のブラウザであって、
前記ブラウザは、所定の属性を有する少なくとも１つの要素を含むハイパーメディアに動作するように構成され、これによりユーザーエージェント用の動的に割り当て可能なキーボードショートカットによって前記要素と関連付けられた所定の機能が作動し、そして、
データの表示を識別および表現する前記プロセスは、前記所定の属性をサポートする前記ハイパーメディアにおける前記要素に対応するデータの表示を識別および表現する段階を備えることを特徴とするハイパーメディア用のブラウザ。
【請求項８】
請求項７に記載のブラウザにおいて、前記ブラウザは、ＸＨＴＭＬと共に使用することを特徴とするハイパーメディア用のブラウザ。
【請求項９】
請求項７に記載のブラウザを含むことを特徴とするモバイル装置（１）。
【請求項１０】
請求項７に記載のブラウザにおいて、前記所定の属性は、アクセスキー機能であることを特徴とするハイパーメディア用のブラウザ。
【請求項１１】
リモートサーバー（１８）から受信したハイパーメディアを表現する装置であって、前記ハイパーメディア用のプロセッサ（８）と、表示装置（５）、および、第１モードにおいて関連する英数字データを入力するべく動作可能な複数のキー（３，４）を有するキーボードを含むユーザーインターフェイスと、を含み、前記プロセッサ（８）および前記表示装置（５）は、第１表示設定においてハイパーメディアを表示するべく動作可能であり、且つ、第２表示設定においてオプションのリストを表示するべく動作可能である装置において、
前記複数のキー（３，４）は、第２モードにおいて前記ハイパーメディアにおける要素によって動的に割り当てられた個々のキーボードショートカットを作動させるべく動作可能であり、そして、
前記プロセッサ（８）は、前記ハイパーメディアにおける所定のキーボードショートカットを定義する要素を識別し、前記識別された要素と関連付けられたデータを格納する前記オプションのリストを形成するべく動作可能であることを特徴とするハイパーメディアを表現する装置。
【請求項１２】
請求項１１に記載の装置において、前記識別された要素と関連付けられている前記データは、その他のハイパーメディアの場所に対するリンクを備え、前記キーボードは、前記第２表示設定において、前記リンクの中の１つを選択して作動させるべく動作可能であることを特徴とするハイパーメディアを表現する装置。
【請求項１３】
請求項１１に記載の装置において、前記キーボードは、前記ハイパーメディアが表示される前記第１表示設定と前記オプションのリストが表示される前記第２設定間を切り換えるべく（Ｓ．４）動作可能であることを特徴とするハイパーメディアを表現する装置。
【請求項１４】
請求項１１に記載の装置において、前記表示装置は、前記第１表示設定において、前記

表示されるハイパーメディアをスクロールするべく構成され、これにより前記表示は、様々なスクロール位置においてスクロール可能であり、前記第２設定用の前記オプションのリスト表示は、前記第１表示設定の前記スクロール位置とは無関係に選択可能であることを特徴とするハイパーメディアを表現する装置。

【請求項１５】

請求項１４に記載の装置において、前記第１設定において、前記ハイパーメディアの表示をスクロールするスクロール装置（４ｃ）を含むことを特徴とするハイパーメディアを表現する装置。

【請求項１６】

請求項１３に記載の装置において、前記キーボードの前記キー（３，４）は、前記第１モードにおいては、短いキーの押下により、且つ、前記第２モードにおいては、長いキーの押下によって動作可能であることを特徴とするハイパーメディアを表現する装置。

【請求項１７】

請求項１１に記載の装置において、前記要素は、アクセスキー・キーボードショートカット機能を有していることを特徴とするハイパーメディアを表現する装置。

【請求項１８】

請求項１７に記載の装置において、前記アクセスキー・キーボードショートカット機能と関連付けられた番号付けが、前記第１表示設定における前記ハイパーメディアの表示において隠されていることを特徴とするハイパーメディアを表現する装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

この問題を克服することが本発明の目的である。

ＤＯ要素を使用することなくＨＴＭＬ文章からオプションリストを抽出するソフトウェアが存在している。そのソフトウェアは、ＨＴＭＬリンクタグ＜ａ＞を検索することによってリンクおよびオプションを識別し、ＨＴＭＬコードにおけるパターンを容易に認識可能とする。他のウェブページからリンクを抽出してその抽出されたリンクを携帯電話のブラウザに適した形式で表示するウェブページインターフェイスを有するサーバが、２００１年７月１６日にニューヨークで開催されたモービルコンピューティングおよびネットワーキング年次国際会議のＮＹ：ＡＣＭ，ＵＳのＣＯＮＦ．第７巻の１２２～１３１ページで、シリット他による「Ｍリンク：超小型インターネット装置用インフラストラクチャー（M-links: "an infrastructure for very small internet devices", annual international conference on mobile computing and networking, New York, NY: ACM, US, vol CONF. 7, 16 July 2001, pages 122-131, by Schilit et al.）に記載されている。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明によれば、ハイパーメディアを解析（parse）および表現（render）する段階と、前記ハイパーメディアからのデータを照合する段階と、前記照合されたデータの表示を表現する段階と、を備えるハイパーメディアにおける機能にアクセスする方法であって、前記照合する段階は、ユーザーエージェントによって実行され、前記ハイパーメディアは、所定の属性を有する少なくとも１つの要素を含み、これにより前記ユーザーエージェント用の動的に割り当て可能なキーボードショートカットによって前記要素と関連付けられた所定の機能が作動し、そして、前記照合されたデータは、前記所定の属性をサポートす

る前記ハイパーメディアにおける前記要素に対応していることを特徴とするハイパーメディアにおける機能にアクセスする方法が提供される。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、本発明は、ハイパーメディアを解析する解析プロセス（Ｓ．１）と、データを識別するプロセス（Ｓ．２）と、該データを表現するプロセス（Ｓ．５）とを提供するプログラムを含むハイパーメディア用のブラウザであって、前記ブラウザは、所定の属性を有する少なくとも１つの要素を含むハイパーメディアに動作するように構成され、これによりユーザーエージェント用の動的に割り当て可能なキーボードショートカットによって前記要素と関連付けられた所定の機能が作動し、そして、データの表示を識別および表現する前記プロセスは、前記所定の属性をサポートする前記ハイパーメディアにおける前記要素に対応するデータの表示を識別および表現する段階を備えることを特徴とするハイパーメディア用のブラウザも含む。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、本発明は、リモートサーバーから受信したハイパーメディアを表現する装置であって、前記ハイパーメディア用のプロセッサと、表示装置、および、第１モードにおいて関連する英数字データを入力するべく動作可能な複数のキーを有するキーボードを含むユーザーインターフェイスと、を含み、前記プロセッサおよび前記表示装置は、第１表示設定においてハイパーメディアを表示するべく動作可能であり、且つ、第２表示設定においてオプションのリストを表示するべく動作可能である装置において、前記複数のキーは、第２モードにおいて前記ハイパーメディアにおける要素によって動的に割り当てられた個々のキーボードショートカットを作動させるべく動作可能であり、そして、前記プロセッサは、前記ハイパーメディアにおける所定のキーボードショートカットを定義する要素を識別し、前記識別された要素と関連付けられたデータを格納する前記オプションのリストを形成するべく動作可能であることを特徴とするハイパーメディアを表現する装置も含む。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
［ＤＯ（ドゥ）要素］
ＤＯ要素は、ユーザーが現在のカードに影響を与える一般的なメカニズムを提供するものであり、特定のユーザーエージェント（すなわち、ブラウザ）によって判定された特定のユーザーエージェント要素にマッピングされる。ノキア（Ｎｏｋｉａ）社のＷＡＰブラウザの場合には、ＤＯ要素は、左ソフトキー４ａを操作することによって表示されるオプションメニューにおけるリストにマッピングされる（ただし、＜ｄｏ　ｔｙｐｅ＝"ｐｒｅｖ"　ｌａｂｅｌ＝"Ｂａｃｋ"＞＜ｐｒｅｖ／＞＜／ｄｏ＞要素を除く。これは、右ソフトキー４ｂ用のソフトキー機能表示２１として表示され、キー４ｂに関連付けられた「戻る」機能を提供する）。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４９】
ＸＨＴＭＬコード片１を更に詳細に参照すれば、アクセスキー機能５および６が、それぞれ「ＣＮＮホーム（CNN Home）」および「ＣＮＮヘルプ（CNN Help）」に対応するリンクに割り当てられており、従って、これら２つのリンクが図６（ｂ）のオプションリスト内に表示されていることがわかる。そして、アクセスキー機能と関連付けられたリンクが図６（ａ）の表示において隠される結果をもたらす「ｖｉｓｉｂｉｌｉｔｙ：ｈｉｄｄｅｎ」に、そのスタイルが設定されていることがわかる。この「ｖｉｓｉｂｉｌｉｔｙ：ｈｉｄｄｅｎ」属性は、ＸＨＴＭＬの機能の１つであり、要素の表示に使用される特定のテンプレートを定義するものである。この結果、ユーザーは、ＸＨＴＭＬページ内におけるこれらのリンクの位置およびＸＨＴＭＬブラウザ内におけるそのページの位置とは無関係に、これらのリンクにアクセスすることができる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５５】
添付の特許請求の範囲に属する本発明の多数の変更および変形が可能である。例えば、アクセスキー機能は、ＷＭＬやＳＧＭＬにおいても利用可能であるため、本発明は、ＸＨＴＭＬに限定されるものではなく、その他のマークアップ言語と共に使用することができる。